

令和4年度 高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校学校運営協議会

令和4年度 第1回学校運営協議会(議事録)

- 1 開催日時 令和4年9月13日(火) 13:30～15:30
- 2 場 所 日高特別支援学校高知みかづき分校 多目的ホール
- 3 開 会 ○校長挨拶
○自己紹介
- 4 議 事
 - (1)学校運営協議会設置要綱について
 - (2)会長及び副会長の選出
 - (3)令和4年度学校経営計画の中間評価について
 - (4)学校評価アンケート(前期)の報告及び質疑応答
 - (5)意見交換
- 5 議事概要
 - (1)運営協議会の設置について
○校長より、学校運営協議会設置要綱についての説明
 - (2)会長及び副会長の選出(以下のとおり承認)
○会 長:田所 幸代
○副会長:利岡 徳重
 - (3)令和4年度学校経営計画の中間評価について
 - ア 専門性の向上(就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上)
…中間評価「B」
 - (ア)企業組合と連携を行い、本校の作業学習等への助言を受ける場の検討をしている。
 - (イ)生徒の現状や支援の仕方について、学校全体で情報共有を行うことができている。
また、SC、SSWの活用についても積極的に行うことができている。
※不登校解消事案:1件
※登校渋り対応事案:3件
 - (ウ)県のGIGAスクールサポーターを活用しながら、教員対象にChromeBookの活用方法の研修を実施することができた。
 - イ キャリア教育の充実(職業生活に必要な力の育成)…中間評価「B」
 - (ア)8月末現在における、新規の実習・進路先の確保は、17件となっている。(新規開拓29件)また、卒業生へのアフターケアについては、適宜、行うことができている(8月末現在で38件)。
 - (イ)アビリンピックや技能検定に向けての練習を、教育課程上に取り入れながら行うことができている。また、結果をもとに授業で般化を行い、スキルアップにつなげることができている。【技能検定1級取得(清掃部門7名、接客部門8名)・アビリンピック入賞者(銀賞3名、銅賞3名、努力賞1名)】
 - (ウ)1学期の現場実習で得られた情報をもとに、生徒のキャリア発達を促すステップアップシートを作成することができた。

- (エ)新規作業種の検討については、まだ十分に行うことができていない。
- (オ)社会における情報機器の発展や活用について授業で取り上げることができている。また、外国の文化への理解については、ALTを活用しながら取り組むことができている。

ウ 防災・防犯教育の充実・・・中間評価「B」

- (ア)県教育委員会と連携を取りながら防犯・防災マニュアルの見直しを行うことができている。
- (イ)高知ろう学校との合同避難訓練については、令和5年2月実施を予定している。

エ 地域貢献の推進・・・中間評価「B」

- (ア)公民館及び駅周辺については、週1回程度、清掃活動を行うことができた。
※新型コロナ感染症拡大のため、活動に制限がかかるが、その中でも感染対策を行いながらできることを探しつつ、取り組んでいる。
- (イ)生徒会を中心に週1回の挨拶運動を行うことができている。
- (ウ)家庭科で環境問題を取り上げたり、作業(フードビジネス)では環境に配慮したビニール袋を使用して生徒たちが意識できるように取り組んでいる。

オ 働き方改革・・・中間評価「C」

- (ア)各分掌業務の引継ぎについては、確実にこなせるように副部長的なポジションを設置することができている。
- (イ)業務の効率化を図るため、「教材フォルダ」内のフォルダやファイル名(日付・内容を記入する等)の統一に取り組んでいる。時間外勤務については、月40時間以下を守ることができている。
- (ウ)グループウェアの活用はできつつある。また、更なる活用推進のため、学習会を予定している。

6 学校評価アンケート(前期)の報告

- (1) 生徒のアンケート結果と感想、コメントの説明
- (2) 保護者アンケート結果の報告と説明
 - ア おおむね肯定的な意見が多い。
 - イ 携帯電話の使い方の指導については、保護者と教員との意識に差がみられた。学校全体で共有して支援、指導に生かしていきたい。
 - ウ 卒業後の進路への支援については、1年生の段階では「分からない」が20%あるため、1年生の段階からのより充実した情報提供が必要であると思われる。
- (3) 教員アンケート結果
 - ア 「携帯電話の正しい使い方への指導」で教員と保護者との間で認識のずれがあるため、研修会の開催や更なる連携が必要になると思われる。
 - イ ホームページを積極的に更新していく必要がある。

7 各委員よりの意見・回答

- (1) 専門性の向上(就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上)
 - 少年サポートセンターでも不登校の生徒への支援も行っている。対象としては18歳ま

でとなる。また、携帯電話の使用方法やトラブルに関しての研修への講師も派遣している。

○インターネットリテラシーの育成のために人気ユーチューバーを講師に招いた研修会があった。生徒たちが積極的に質問をするなどの場面が多く見られた。ユーチューバーは、ネットの利用マナーについても詳しく、生徒も興味をもちやすい。

(2) キャリア教育の充実〈職業生活に必要な力の育成〉

○ナカポツセンターへ登録している方については、職場定着支援を行っている。その中で最近、障害の多様化を感じる。また、職場実習では、10年後に無くなる可能性のある職種については、行わないようにしている。そして、職種のマッチングの重要性も感じている。

○職場で求められるスキルとして、コミュニケーション力がある。また、コミュニケーション不足により、質問したいときにどのようにすればいいかわからずに困っている者もいる。在校中からもコミュニケーション力の育成に取り組んでもらいたい。

⇒質問の仕方、タイミングについては、校内作業でも取り組んでいる。本校では、「○○さん、今、話しかけていいですか？」等、具体的に質問をする場面を設定して練習をしている。

○ステップアップシートを利用した保護者面談等については、引き続き行なってもらい、ブラッシュアップしてもらいたい。

⇒今後も情報共有をしながら様式の改良に取り組んでいきたい。

○携帯電話を使用する際のマナー等については、家庭で支援を行っていく必要があるとは思っているが、LINEでのトラブルが最近でもあった。学校でも引き続き支援を行なってもらいたい。

⇒アンケート結果にあるように学校で携帯を使用する際のマナーについての学習も行っているが実際に使用する場面が多い家庭では、十分とは感じていないことが分かった。今後はさらに家庭と連携を取りながら教員間でも情報を共有し対応していきたい。

(3) 地域貢献の推進

○今後もみかづき分校の生徒さんと一緒に地域貢献活動を推進したい。活動を通してコミュニケーションを高めることを意識した対応に心掛けていきたい。

○地域で行っている「子育てサロン」については、制度の変更や子どもの数の減少により、利用者が少なくなってきた。みかづき分校の生徒にも交流で入ってもらっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、あまり実施できていない。人と話をする場面が少なくなってきたように感じる。

○高知みかづき分校の生徒さんが気持ちのよい挨拶をしてくれることで、専門学校の生徒にもあいさつの仕方の勉強になっている。

○ボランティア清掃では、挨拶がしっかりでき、考えた行動ができているところが良いと感じた。

8 閉会

○次回開催について日程を確認

○校長謝辞